



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:http://www.mokusankyo.com
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 目 1 県木産協第 40 回通常総会開催される! | 5 コーディネーター研修成果報告 |
| 2 木材利用ポイント申請 600 件を突破! | 6 新組合員の紹介 |
| 3 会議・事業案内 | 7 4 月期住宅着工戸数等 |
| 次 4 労働安全衛生規則の一部改正 | |



1 第 40 回通常総会開催される!

5 月 21 日 (水)、標記定例総会が、メトロポリタンホテル山形を会場に開催され、折からの雨にも拘らず、全県より組合員等 70 名が出席し、本年度の事業計画等を決定した。

また、御来賓として山形森林管理署の浅利次長並びに県農林水産部林業振興課の安達木材産業振興主幹にご祝辞をいただいたほか、県各総合支庁森林整備課長や森林協会をはじめとした団体関係者、賛助会員の皆様にもご出席いただいた。

総会では、平成 25 年度の実績報告、平成 26 年度事業計画、賛助会員に関する定款変更等が全会一致で承認されたほか、審議過程で活発な質疑応答が行われ、現代的課題について、出席した組合員の認識の共有が図られたものと考えている。

主な内容としては、国、県の指導の下、関係団体と足並みをそろえ、①木材利用ポイント事業の推進、②合板・バイオマス用材の共同販売の拡大、③品質性能の確保された製品出荷体制の構築、④公共建築物建設等に対する地域組合での取り組みの強化、⑤若手組合員の研修の充実、⑥全国育樹祭等への協賛等について取り組みを強化することになっている。

組合員の皆様には、総会資料のほか議事録や質疑詳細について、別途お送りしますのでご覧いただきたいと思っております。

これ以外の課題としては、総会の案内をお送りしているにも拘らず、相変わらず出欠のご返事をいただけない方も存在しており、是非、法人組織として自覚をお持ちいただきたいと考えています。



(挨拶する沖田理事長)



(質問する組合員)

2 木材利用ポイント申請 600 件を大きく突破！ (2 億ポイントに迫る！)

(1) 申請状況等

県内 8 カ所の窓口の受付状況です。地域的な偏りもあり関係者の奮闘を期待しています。

窓口名		8～3月	4月	5月	合計	割合
木産協	件数	180	45	48	273	43.4
	p数	54,136,000	14,179,000	14,774,000	83,089,000	—
建設労組連合会	件数	26	2	8	36	5.7
	p数	7,075,000	866,000	2,607,000	10,548,000	—
山形建設労組	件数	44	13	8	65	10.3
	p数	13,740,000	3,767,000	1,953,000	19,460,000	—
金山町森組	件数	20	4	4	28	4.5
	p数	5,415,000	1,340,000	940,000	7,695,000	—
米沢建築組合 (連)	件数	27	13	7	47	7.5
	p数	7,357,000	4,043,000	2,331,000	13,731,000	—
田川建設労組	件数	63	10	11	84	13.4
	p数	20,300,000	3,000,000	4,397,000	27,697,000	—
酒田飽海建設労組	件数	53	21	18	92	14.6
	p数	15,472,000	7,126,000	5,046,000	27,644,000	—
やまがたの木乾 燥センター	件数	2	1	1	4	0.6
	p数	600,000	300,000	300,000	1,200,000	—
計	件数	415	109	105	629	100%
	p数	124,095,000	34,621,000	32,248,000	191,064,000	—

注) Pはポイント数、地域的偏り実態などについては次号に掲載。

(2) 「木で、未来をつくろう！ in 山形県」シンポジウム開催される (ポイント事業 47 都道府県縦断シンポジウム)

平成 26 年 5 月 17 日 (土) 山形市のビッグウィングにおいて、標記シンポジウムが開催され、一般県民等 120 名が参加した。

この催しは、木材利用ポイント事業の一環として行われたもので、国内森林資源の充実が進む中で、国産材の自給率をさらにアップしていくために、地域材使用の意義等について、県民の皆様にも普及啓発したもので、山形新聞社及び全国地方新聞社連合会が主催し、県及び県木産協や県ポイント協議会等が後援した。



(芦田氏講演状況)

また、基調講演は林野庁林政課の芦田真亜課長補佐が、パネラーとして木産協からは、沖田理事長 (県ポイント協議会会長) と安部雄祐氏 (城南木材市場社長) が参加し、地域材利用の現状や課題について意見を述べた。

※参加者には、サプライズで「つや姫」2kgのプレゼントが行われた。

(3) 県内のポイント交換商品業界の状況

県内では、3つの事業者がポイント商品交換業者として登録しており、ポイント事業の進展と共に商品交換が増加しており、担当のお話では順調であり、県産商品の全国展開にも一定の効果があると期待している。これまでの状況は次のとおりである。(2つを紹介)

ア 西川町商工会

これまで、250件の商品交換が行われ、トータルのポイントは約130万ポイントである。8割が県外からの注文である。商品については、お酒や果物、最近ではサクランボの注文が増加しておりこれから旬の季節になることから、期待しているとのことであった。

イ 山形県酒類卸組合

これまで、約200件の交換が行われており、トータルのポイントは約230万ポイントである。9割が県外からの注文となっている。交換商品については、日本酒とワインと牛肉がそれぞれ3割程度、残りの1割が「つや姫」「リキュール」等となっている。

ポイント交換した方からは好評であるが、課題として、商品にDM等を添付できない制度であり、地域商品の販路拡大に大きく結びつけていくには、PR方法にもう一工夫が必要のようである。

3 会議・事業等案内

(1) 平成 26 年度第 1 回木材利用ポイント協議会の開催

本年度の木材利用ポイント事業等の推進計画等の協議を下記により開催します。

- 1 日時 平成 26 年 6 月 19 日 (木) 13 時 30 分～
- 2 会場 山形市内 ホテルキャッスル会議室 (地下)
- 3 協議事項 (1)平成 25 年度事業報告等 (2)平成 26 年度事業計画等
(3)事業推進上の課題等 (委員の皆様には、別途ご案内いたします。)

(2) 森林資源循環利用促進事業について(間伐材の搬出支援等)

みどり環境税を活用し、低質材の搬出を支援する本事業を本年度も継続して実施します。主な変更点は、計画書提出時に伐採箇所を計画書に記載する必要が出てきたことです。5月末まで、相当数の申込みをいただいておりますが、年度当初に全ての事業個所の把握は困難であり、遅れてまとまった分についても追加申請することにしております。該当箇所がありましたら木産協にご相談下さる様願います。

(3) 2014 耐震博覧会 (仙台市 夢メッセ)

3年目になる、震災復興支援を兼ねた標記博覧会が、7月12日(土)～13日(日)に、仙台市で開催されます。木産協はこのイベントでの「県産木材」PRに取り組むこととしております。組合員の皆様でご出展等の希望がありましたら、6月13日まで、木産協宛て御連絡下さる様願います。木材関連ブースでは、東北産材等の家づくりがテーマとなるようです。本県産材の魅力や関連商品のPRを行い、山形が一層目立つものになりたいと考えておりますので、よろしくご協力下さる様願います。別添のチラシも参照願います。

(4) 丸大(ハム)の夏ギフトについて (お買い得!!)

木産協では、組合員の皆様の便宜を図るために、丸大(ハム)夏ギフト商品を取り扱っております。世界最高品質と言われる同社の製品は、いただいた皆様から大変喜ばれております。自宅での試食でも結構ですので、是非、一度お試し下さる様ご案内いたします。別添のパンフレットをご覧になり申込み下さい。(お値段も割引価格です。)

4 労働安全衛生規則の一部改正

(車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る特別教育について)

(1) 「労働安全衛生規則」の一部改正

高性能林業機械にかかる災害の増加を背景に、平成25年11月29日付けで「労働安全衛生規則」の一部が改正され、平成26年6月1日から施行される。

(2) 主な改正の内容

ア 特別教育の実施 (平成26年12月1日施行)

・12月1日以降の高性能林業機械の運転業務には次の特別教育を終了する必要がある。

① 「伐木等機械の運転業務特別教育」

(ハーベスタ、プロセッサ、フェラバンチャ、グラップル等)

② 「走行集材機械の運転業務特別教育」

(フォワーダ、小型運材車、集材用トラクタ、スキッド等)

③ 「簡易架線集材装置等の運転業務特別教育」

(スイングヤーダ、タワーヤーダ、集材ウィンチ等)

・講習時間

① 学科6時間、実技6時間、② 学科6時間、実技6時間、③ 学科6時間、実技8時間
上記時間は基本的なものであり、取得資格、特別教育の受講内容によって一部科目の免除がある。また、それぞれの機械の運転の業務に6ヶ月以上従事した経験を有する者については、実技科目の全部を免除することができ。(事業主の「実務経験証明書」が必要)

イ 安全装置の具備

・前照灯、ヘッドガード、防護柵等の安全装置の設置が義務付けられた。

(山形県森林協会に助成事業があるのでお問い合わせ下さい。)

平成26年5月31日において現に製造しているもの又は現に存するものについては、平成26年5月16日～同年11月30日までの間は適用しない。「現に製造している」とは、現に設計の完了以降の過程にあることをいい、「現に存する」とは、現に使用されていること及び製造が完了しているが、また使用されていないことをいう。

ウ 特別教育の実施

・林災防山形県支部においては、今年度は、実技免除の者を対象にした、特別教育を実施の予定であり、現在準備中である。

5 地域森林経営コーディネーター育成研修成果報告(第4弾)

「木材の可能性」

(株) 結城林業 結城貴宏

この度の、コーディネーター育成研修に参加した当初は、自分自身、木材に関係する知識は、素材生産や木材搬出の仕事に関するものだけで、製材や乾燥技術、そのほかの木製品についての知識はとても乏しいものでした。

研修に参加する目的としては、県内の各地域から集まる他の研修生の皆さん共に、林業・木材業界を取り巻く環境、また、様々な意見、考え方などを学びたいというものでした。

研修生には製材関係の方も多く、製材の工程、製品の種類などについて、実際に稼働中の工場に出向き、彼らに説明をしていただき多くを学ぶことができました。

自分は、素材生産の現場で働いており、自社で出材した丸太がどの工程を経て、どのような製品になっていくのかを見学する機会が少なかったのでいい経験になりました。

集合研修では、様々な分野の一流の講師の講演を聴くことができ、木材の多岐にわたる用途を学びました。建築用の材料としてはもちろん、燃料としての可能性については、冷暖房や産業用の熱や発電にも使え、地域資源を有効活用するクリーンエネルギーとして、この先もそれらを担う役割が大きくなると感じました。

最上町でも木質バイオマスを利用した熱利用がなされておりますが、実際にボイラーや利用システムについて、数値や図表での説明でなく、自分の目で見ながら説明を受けたことで木質バイオマスへの関心が一層深まると共に、今後、チップの安定供給を行う上で、どのような作業方法を追求すべきか等、幅広い考えを持つことができるようになりました。

また、間伐の大切さや木質バイオマスエネルギーの循環が、森林が有する治山、治水等の働きの向上に繋がることも学びました。

最近、木造の建築物も増えており、最上町の特別養護老人ホームも全てが木材でできた建築物であること、また、金山町の長年をかけた木造家屋を大切にしてきた街並み景観は、とても温かみのある素晴らしいものでした。

木造というと火災に弱いといったイメージを持っていますが、鉄などは高温に熱せられると短時間で温度が上昇してしまい変形します。しかし、断面が厚い木材は表面に着火した後、表層に炭化層ができて、中まで燃えるのに時間がかかるため、短時間で建物が崩れ落ちることはないのだそうです。また、木材は軽くて強い材料ということで、近年は実大振動実験などにより木造住宅の耐震性の高さなどが実証されているなど、多くの利点があるそうです。

OJT研修として出かけた宮崎県は、杉の生産量が日本一ということでした。素材生産から流通・製品生産の一貫した体制整備の視察が研修の目的でした。宮崎県の杉は温暖な気候から成長が早く、その成長の早さが生産量に大きく影響しているということでした。比較的なだらかな山と厚い表土も条件として揃い、また山のhaあたりの林道密度が高く、生産性の向上に繋がるなど、これらは様々な施策の結果でもあることが分かりました。

今回のコーディネーター育成研修では、前述したように、木材の持つ可能性を数多く学ばせてもらいました。木材の利用を促進する法律が施行されるなど、政策による環境整備が進んでいることもあり、木材の需要はますます高まっていくと予想されます。

こうした中で、これまで以上に、地域の森林所有者との丁寧な意見交換などを通じた、地域の合意に基づく計画的な間伐や森林の管理を推進していきたいと考えています。

6 新組合員の紹介

出羽庄内森林組合

代表理事組合長 菅原 勝

出羽庄内森林組合と申します。この度は、山形県木材産業協同組合に加入させていただきました、誠にありがとうございます。

当組合は、平成9年に、当時の鶴岡・田川・羽黒・櫛引・朝日の5つの森林組合が広域合併し設立致しました。鶴岡市(温海地区を除く)、庄内町を活動区域とし、森林整備・木材生産・また製材工場での製材業も行っております。

近年、木材の有効活用が重要視され、事業の中でも搬出間伐が主体となりつつあります。当組合も、施業の集約化を行い、間伐や作業路開設を進めており、木材生産量も年々増加する傾向にあります。また、公共施設への地元木材利用も進み、今後、より一層の木材価値の向上が求められています。当組合も木材供給の一端を担うべく、森林整備の促進、木材生産性の向上、そして製材工場の木材製品の品質向上に努めていく所存であります。

地域の皆様に喜んでいただけるような森林組合を目指してまいりますので、木産協の組合員の皆様には今後ともご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(株)やまがた中央木材市場 市売事業部

代表取締役 阿部修也

この度、ご縁を頂戴し、本組合への加入と併せて山形木材業組合に入会させていただきました。当事業部は、やまがた中央木材市場の市売事業部として県産木材等を広くご提案する目的で、昨春、山形市青田地内に開設いたしました。

先般、2年目を迎える開設記念市には、沖田理事長様をはじめ関係の皆様にご列席いただき、お陰様で盛会裏に開催することができました。

市日は、毎月、第1、第3木曜日の2回、年間で24回の立会いによる市を開催しており、中でも、月一回の特別市での時節を味わう「季節の旬鍋」は買い方様から大変ご好評をいただいております。

山形には「お漬物」でお客様をお迎えする心温かいおもてなしがあります。この優しさと感謝の気持ちを大切に、いつも皆様のそばにある一番身近な市場として、一服でお気軽に立ち寄っていただけるような店作りを一步一步進めてまいりたいと考えております。

社員一同、品質性能が保障された良質材を、より速くより安くをモットーに、お客様と共にある市場を目指してご期待にこたえてまいりたいと考えておりますので、何卒、ご愛顧くださるよう宜しくお願い申し上げます。結びに、皆様の商売繁盛、ご隆盛をお祈りいたします。

太田木工有限会社

代表取締役 太田キチ子

この度、山形県木材産業協同組合に新規加入させていただきました、米沢市の太田木工(有)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私どもの仕事は、製材業・一般建築業であり、素材を山林から伐り出し・運搬・製材して、天然乾燥してから、一般建築材としての販売及び自社の建築材として使用しております。

今回の加入を契機に、小規模ながら弊社で行っている素材生産・製材建築の中に、「やまがたの木・合法木材」等の信頼性を確保し、これからの木材産業・建築業等の多くの知識を吸収し、業務に取り入れ活かしていきたいと考えております。

組合員の皆様には、今後とも、ご指導、ご助言をいただきながら、学んで行きたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

7 4月期住宅着工状況

平成26年4月期の県内新設住宅着工戸数は、対前年同月比77%の431戸となった。利用別では、持家270戸で72%、貸家113戸で75%、給与住宅9戸、分譲住宅39戸で123%となっている。内容の比較では、昨年度と同様の季節的変動と思われるが、消費税アップも影響してか、件数全体では大きく落ち込んでいる。ただし、木造率が近年最高になったことや、県産木材を多く利用しやすい在来軸組工法が増加等しており、ポイント事業をはじめと各種支援制度により、工法などでの構造的変化が感じられる。

1 県内新設住宅着工戸数(26年4月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,864	3,823	1,553	52	436	5,620	244	4,906	83.7%	3,727	165	1,014
24.11月	453	272	153	1	27	442	11	373	82.3%	261	13	99
12月	406	235	138	1	32	393	13	344	84.7%	216	21	107
25.1月	276	127	89	31	29	238	38	180	65.2%	132	6	42
2月	265	153	92	0	20	246	19	211	79.6%	142	7	62
3月	335	268	32	2	33	326	9	309	92.2%	241	11	57
4月	559	376	151	0	32	494	65	453	81.0%	349	13	91
5月	532	372	128	2	30	513	19	439	82.5%	357	17	65
6月	556	353	171	4	28	540	16	456	82.0%	356	15	85
7月	606	408	146	3	49	593	13	501	82.7%	389	11	101
8月	449	336	60	4	49	439	10	416	92.7%	332	10	74
9月	598	408	152	0	38	568	30	537	89.8%	418	19	100
10月	584	384	158	2	40	577	7	507	86.8%	388	16	103
11月	602	344	223	0	35	596	6	488	81.1%	356	17	115
12月	502	294	151	4	53	490	12	409	81.5%	267	23	119
26.1月	234	135	48	34	17	201	33	160	68.4%	120	8	32
2月	362	166	131	23	42	360	2	275	76.0%	194	9	72
3月	295	189	91	1	14	291	4	255	86.4%	204	10	41
4月	431	270	113	9	39	400	31	406	94.2%	353	12	41
対前月比	146.1%	142.9%	124.2%	900.0%	278.6%	137.5%	775.0%	159.2%	-	173.0%	120.0%	100.0%
対前年同月比	77.1%	71.8%	74.8%	-	121.9%	81.0%	47.7%	89.6%	-	101.1%	92.3%	45.1%
25.1~当月計	1,435	924	364	33	114	1,304	131	1,153	80.3%	864	37	252
26.1~当月計	1,322	760	383	67	112	1,252	70	1,096	82.9%	871	39	186
対累計前年比	92.1%	82.3%	105.2%	203.0%	98.2%	96.0%	53.4%	95.1%	-	100.8%	105.4%	73.8%

2 地域別新設住宅着工戸数(26年4月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計	市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	431	1,322	77.1%	92.1%	1,096	大蔵村	2	2	100.0%	100.0%	2
山形市	105	387	75.5%	101.6%	281	鮭川村	0	0	0.0%	0.0%	0
上山市	7	20	116.7%	58.8%	19	戸沢村	0	0	-	-	0
天童市	25	109	47.2%	77.9%	83	最上地域	21	34	123.5%	113.3%	32
山辺町	2	7	22.2%	43.8%	7	米沢市	50	126	56.2%	65.6%	122
中山町	4	5	100.0%	50.0%	5	南陽市	18	38	105.9%	146.2%	38
東南村山	143	528	67.8%	90.9%	395	高畠町	8	23	80.0%	121.1%	22
寒河江市	14	39	77.8%	66.1%	34	川西町	2	4	50.0%	66.7%	4
河北町	5	11	21.7%	39.3%	11	東南置賜	78	191	65.0%	78.6%	186
西川町	10	12	-	-	12	長井市	27	53	337.5%	139.5%	47
朝日町	11	12	366.7%	240.0%	12	小国町	2	3	100.0%	75.0%	3
大江町	6	9	-	450.0%	9	白鷹町	2	5	50.0%	38.5%	5
西村山郡	46	83	104.5%	88.3%	78	飯豊町	2	6	50.0%	75.0%	5
村山市	5	17	55.6%	89.5%	16	西置賜	33	67	183.3%	106.3%	60
東根市	25	91	69.4%	96.8%	78	置賜地域	111	258	80.4%	84.3%	246
尾花沢市	3	5	75.0%	62.5%	4	鶴岡市	39	142	92.9%	129.1%	119
大石田町	1	1	-	100.0%	1	三川町	2	7	200.0%	41.2%	7
北村山	34	114	69.4%	93.4%	99	庄内町	7	28	233.3%	186.7%	27
村山地域	223	725	73.4%	91.0%	572	田川	48	177	104.3%	124.6%	153
新庄市	16	23	228.6%	143.8%	22	酒田市	25	94	20.0%	67.6%	82
金山町	0	0	0%	0.0%	0	遊佐町	3	34	51.9%	161.9%	11
最上町	0	0	0%	0.0%	0	飽海	28	128	76.0%	80.0%	93
舟形町	1	5	100.0%	250.0%	5	庄内地域	76	305	77.1%	101.0%	246
真室川町	2	4	100.0%	100.0%	3						

注:累計は平成26年1月~